

平成 30 年 2 月 14 日  
農事営業部 葛西 豊誠

# 大槌町訪問報告書



訪問日：平成 30 年 1 月 29 日（月）

訪問先：大槌町

1. 大槌保育園
2. 堤乳幼児保育園
3. 安渡保育園
4. みどり幼稚園
5. 大ヶ口保育園
6. おさなご保育園

訪問者：葛西 豊誠（農事営業部）  
下山 大希（農事営業部）  
板垣 優介（介護・保険課）  
長谷川 至（弘前記念病院）



城山公園からの風景

釜石市から大槌町へ向かう道、前回までは盛土作業のダンプとすれ違ってましたが、今回は乗用車ばかりが走ってました。盛り土が終わり、新築の建物ができ、新しい町並みを想像しましたが、まだまだ、空き地があります。それでも前回から比べると2~3倍建物はできています。

町内を走ると、工事中の道路はありますが、主要道路は完成したように見えます。

大槌町の仮設住宅の計画では、平成31年3月末で、ほぼ集約、閉鎖するようで、これからますます復興が加速していくのだと思います。

#### 大槌町応急仮設住宅団地集約計画

平成27年度 (H28.3末)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
赤浜地区	140	105	24	6	閉鎖
安渡地区	52	38	17		閉鎖
大槌東地区	219	124	68		閉鎖
大槌西地区	308	137	88		閉鎖
吉里吉里地区	108	79	15		閉鎖
浪板地区	114	67	14		集約
小槌東地区	392	255	185		集約
小槌西地区	290	193	150		集約
合計	1,623	998	566	163	

## 大槌町保育施設への訪問

いつもの「きりきり善兵衛」で昼食をとり、1件目の保育施設へ向かいました。今回もりんごを手にもち、「こんにちは」のあいさつで、弘前の当社だとわかってくれます。今年も快く受け取っていただけました。諸事情により今回が最後の訪問だと伝えてまわりました。

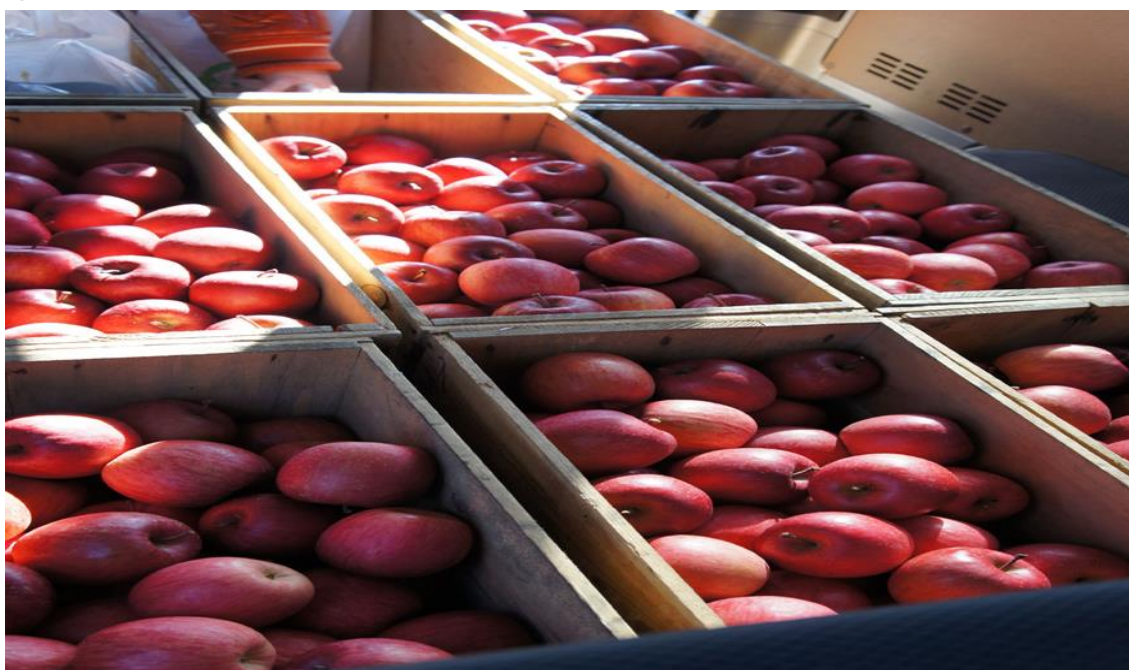
「いままで、本当にありがとうございました」

「大槌町にくる機会があったら、気軽に保育園へよって子供達に会いに来てください」

園長先生からは、7回目の訪問、5年目のりんご、平成24年の訪問、贈り物への感謝、そして大槌町の子供達への支援のお礼のお言葉をいただきました。

## 町の将来を担う子供たちへの支援

- ① 平成24年9月 JMAT活動費で【現地に必要なものを寄贈したい】  
AEDケース、積み木、ゴミ箱などを寄贈
- ② 平成25年7月 寄贈品の確認とあいさつ
- ③ 平成25年12月 1回目 大槌の子供達へりんごを届ける
- ④ 平成26年12月 2回目 //
- ⑤ 平成28年1月 3回目 //
- ⑥ 平成28年12月 4回目 //
- ⑦ 平成30年1月 5回目 //



平成 23 年 5 月 17 日 JMAT 青森県医師会のサポート隊（第 5 次派遣隊）の総務として大槌町へはじめて訪れてから、約 7 年間訪問させていただきました。瓦礫の山だった町が、毎年変化していく様子を自分の目で見る事ができました。

## 「私たちは、微力ではあるけれど無力ではない」

『町の将来を担う子供たちへの支援』として始まった大槌町の子供達へりんごのプレゼント。

大槌町の復興へ、かならず“ちから”となっていくと思います。

今まではほとんど市街地に家は建っていませんでしたが、今回の訪問では津波に町ごと飲みこまれた市街地も盛土事業が終わり、新しい街並みが姿を見せてきました。ようやく新しい大槌町の復興がスタートしようとしています。震災直後から今年の 3 月 11 日で満 7 年となります。震災発生時に幼稚園児だった子供たちも今では小学生、中学生となりました。大槌町の復興をさきやかではありますが見守り続けてきた私たちの活動も子供たちの成長を見届けた今回で一区切りとしたいと思います。

最後に、大槌町訪問活動にお力添えをいただいたすべての皆様に心より感謝するとともに、厚く御礼を申し上げます。

以上

<参考資料>

大槌町ホームページ <http://www.town.otsuchi.iwate.jp/>